

氏名	金 田 象 顕
学位の種類	医 学 博 士
学位授与番号	乙 第 3 6 6 号
学位授与の日付	昭和44年 6 月30日
学位授与の要件	博士の学位論文提出者 (学位規則第 5 条第 2 項該当)
学位論文題目	<b>PHA 附加 mixed Lymphocyte Culture によるマウス H-2 抗原差の証明</b> 第 1 編 PHA 附加によるマウスリンパ節細胞の blastformation について 第 2 編 H-2 抗原差によるマウスリンパ節細胞の blastformation について 第 3 編 Non-H-2 抗原性によるマウスリンパ節細胞の blastformation について
論文審査委員	教授 田中早苗 教授 砂田輝武 教授 佐藤二郎

### 学 位 論 文 内 容 の 要 旨

臓器移植に最も重要である、histocompatibility testing のうち in Vitro lymphocyte culture testing が広く用いられている。その結果が混合細胞間の抗原差を忠実に反映しているかどうかを知るには、組織適合抗原の最もよく分析されている、マウスのリンパ節細胞を用いると都合がよい。しかしマウスのリンパ球は活性が低く、blastformation がおこり難いといわれている。そこでそれぞれに adjuvant として PHA-M 附加のもとに培養すると、H-2 の異なる組合せの混合培養において blastformation の程度が著明に上昇することを明らかにした。(第 I 編) 一側の細胞のみが反応しうるような二つの実験系、すなわち、一側に Co<sub>60</sub>-irradiation した群、またいわゆる F<sub>1</sub>-test の群との blastformation の程度を同じ組合せの皮膚移植の成績と比較すると、このリンパ球混合培養法は H-2 抗原差を反映していることを明らかにした。(第 II 編) 弱い移植抗原差、すなわち、Non-H-2 Antigen や、Sex-linked antigen の差の場合には blastformation の程度が低い。(第 III 編) mixed lymphocyte culture test は major histocompatibility antigen はもとより、弱い移植抗原でもある程度以上の多数の抗原のちがいがあれば、これを blastformation によって示す可

能性があり， donorのexclusion test として十分利用しうるものとする。

### 論文審査の結果の要旨

本研究は臓器移植の際に重要な組織適合性の検索法についての研究である。 donorと recipientのリンパ球を混合培養した際， P H Aを附加することによって blastformation が拡大表現されることに着眼して研究し， これが donorのexclusion testとして利用しうることをみいだしたもので， こうした方面における重要な知見を得たものとして価値ある業績であると認める。

よって本研究者は医学博士の学位を得る資格があると認める。